

日本無線の100%子会社「JRCモビテック」全株買収

2003年11月18日電波新聞掲載

日本無線(牟田忠弘社長)と三井物産テレパーク(宮崎重則社長)は、日本無線の100%子会社であるジェイ・アール・シーモビテック(新谷清巳社長)の全発行済株式の売買に関して基本合意に達したことを明らかにした。両者は12月をメドに株式売買契約を締結することで詳細を検討している。

三井物産テレパークは現在、経営基盤の強化を柱とした中期経営計画(目標年度2005年)を推進中であり、今回の株式売買が実施されることにより、業界最大手の地位が確固たるものになる。さらに中期的には物流及び在庫管理の統一などを実施することになり、シナジー効果の実現をはかり、顧客サービスの向上につなげていくという。

日本無線は従来、携帯電話端末機器の製造を行ってきたが、同端末機器の新規開発は中止している。この事業の一環としてジェイ・アール・シーモビテックの事業上の位置付けを見直した結果、今回の基本合意に至った。

なお、ジェイ・アール・シーモビテックは株式売買が実行された後も原則として、現行の代理店網を維持して三井物産テレパークグループとして携帯電話事業を継続していく予定。

 [株式会社JRCモビテック](#)